

IMF サーベイ

2015 年の世界経済

2015 年を「行動と政治的指導力の年にする」 — ラガルド専務理事

2015 年 1 月 15 日



原油価格の下落により、エネルギー補助金を削減し、節減された分を貧困層保護のためのよりの的を絞った移転に使うチャンスが生まれる、とラガルド専務理事は述べた（写真：Michael Sedam/Corbis）

- 世界経済の回復は原油価格の下落、高い米国の成長率にもかかわらず、強力な逆風に直面している
- 世界経済は、成長率が余りにも低く不安定で偏っており、下振れリスクが大きい
- 構造改革の断固とした推進が、現在および中期的な成長率を高めるだろう

ポイント：2015 年は、根深い経済の弱さに立ち向かい、インフラ投資、通商協定および気候変動にさらに強力な政治的指導力を発揮するために、政策担当者が一層努力する「行動の年」としなければならない、と国際通貨基金（IMF）のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は述べた。

2015 年は、根深い経済の弱さに立ち向かい、インフラ投資、通商協定および気候変動にさらに強力な政治的指導力を発揮するために、政策担当者が一層努力する「行動の年」としなければならない、と国際通貨基金（IMF）のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は述べた。

ラガルド専務理事はワシントンで聴衆に対して、世界経済は、原油価格の下落や一段と力強さを増した米国の成長といったプラス要因にもかかわらず、強力な逆風に直面していると語った。

「グレート・リセッション（大規模景気後退局面）から 6 年以上を経ても、回復を感じられない人々が余りにも多すぎる。だからこそ、現在の成長をそして中期的に潜在成長率を高めるために、断固として構造改革を進める必要がある」と述べ、それには優れたチームワークと強力な指導力が必要となると付け加えた。

また、世界経済は、2015 年は、成長と雇用の促進、より包摂的な成長と成長の共有、及びより持続可能かつ均衡ある成長の達成という 3 つの重要な政策課題に直面し、政治的勇気に基づく決断、断固たる対応および真の多国間の思考が必要となる。これらの極めて重要な問題は相互に深く関連し、互いに依存していると述べた。「す

べてが重要であり、すべてにおいて強力な指導力が求められており、すべてにおいて協力が必要である」

ラガルド氏は、原油価格の下落は、原油輸入国では消費者の購買力を高める歓迎すべきカンフル剤であり、米国経済は、主に堅調さを増した家計支出を理由に今年はさらに力強さを増すだろうと語った。

ただし、原油価格の下落や米国の成長は、他の根深い脆弱性の治療となるわけではないと警告した。「巨額の債務や高い失業率を含めた金融危機の遺産が、依然として余りにも多くの加盟国を圧迫している。余りにも多くの企業や家計が、今後の低成長を懸念していることから、今日の投資や消費を引き続き控えている」

重大なリスク

ラガルド専務理事は、世界の経済は成長率が余りにも低く不安定で偏っていると述べるとともに、世界経済の回復には重要なリスクが存在すると強調した。

- 新興市場及び途上国・地域は、強い米ドル、世界的な金利の上昇、より変動が大きい資本移動という 3 つの打撃を受ける可能性がある。
- ユーロ圏と日本は、長期にわたり低成長と低インフレから抜け出せない可能性がある。
- 地政学的なリスクが高まっている。

こうしたリスクには、回復を強化し、全世界の市民により良い雇用見通しを提供できる力強い政策ミックスが必要であるとラガルド氏は述べた。「緩和的な金融政策は引き続き不可欠である。財政調整は、できる限り成長と雇用を考慮したものでなければならない。そして何よりも、政策担当者は最終的に構造改革を強化する必要がある」

「この経済の合言葉—需要、成長、構造改革への支援—は決して新しいものではないが、現在緊急性が増しており、政治的指導力がますます重要であることを明確に示している」とラガルド氏は強調した。

原油価格下落の試練

多くの政策担当者が即座に受ける試練は、原油価格の下落の影響だとラガルド氏は述べた。ただし、原油輸入国・地域にとってはそれほどの影響はない。この予期せぬ状況が輸入国・地域にマクロ経済の枠組みを強化する機会を与え、インフレ圧力

の緩和に資する可能性がある。対照的に、原油輸出国・地域は経済に対する衝撃を緩和する必要がある。

ユーロ圏では、原油価格の下落によりインフレ期待がさらに低下しデフレリスクが高まる。これは、追加的金融刺激の正当性を裏付けるものだ。最も重要なことは、原油価格の下落により、エネルギー補助金を削減し、削減された分を貧困層保護のためのよりの的を絞った移転に使うまたとないチャンスが生まれることだ、とラガルド専務理事は述べた。

「取り除き、立て直し、解き放つ」

ラガルド氏は「**2015**年は、行動の年としなければならない」と述べた。「これは、労働市場と製品市場で根深いゆがみを取り除き、きしんでいるインフラを立て直して新たに整備し、教育、医療そしてソーシャル・セーフティ・ネットで改革を推し進めることを意味する。そして、女性の経済への力を解放することでもある」と強調した。また、インフラへの投資—投資対象は、慎重に選択された効率が良いものとする—は、形勢を一変させる可能性がある。IMFの調査では、公的インフラ投資の増加によって、短期的には需要が高まることにより、そして長期的には経済の生産能力が高まることで産出量が増えることが明らかになった、と専務理事は述べている。

状況を変える可能性があるもうひとつの要因は、現在労働市場から閉めだされている、何百万人も女性の経済への力を解放することである。「こうした女性を締め出すことは、道徳的に間違っているだけでなく、経済的にも打撃だ」とラガルド氏は述べた。

貿易の自由化は、構造改革から得られる利益を活用するうえで役立つだろうと同氏は続けた。何年にもわたり世界貿易が減速した後、**2015**年は野心的な貿易協定の成功を左右する年となるかもしれない。

グレート・リセッションでは、持続可能な経済成長は持続可能な金融セクターなくしては不可能であることが明らかになった。したがって、金融セクター改革に関する課題を完了することが不可欠である、とラガルド氏は強調した。

持続可能な開発目標

ラガルド専務理事は「特に銀行規制で前進し—それほどでないにせよ—重要すぎて潰せない金融機関への対処でも進歩がみられる。現在の大きな課題は、改革を実施し、監督の質を改善することである」と述べた。

2015年は、重要な国連会議において新たに「持続可能な開発目標」の採択を目指しており、また、世界の指導者も炭素排出量を削減する包括的な気候変動で合意を目指している。

関連リンク：

スピーチを読む、

<http://www.imf.org/external/japanese/np/speeches/2015/011515j.pdf>

IMF、経済成長の活性化を目指す、

<http://www.imf.org/external/pubs/ft/survey/so/2014/POL121114A.htm>

ブログ：最近の原油価格低迷をめぐる7つの疑問、

<http://www.imf.org/external/japanese/np/blog/2014/122214J.pdf>

石油下落のシグナル：多角化、

<http://www.imf.org/external/pubs/ft/survey/so/2014/CAR122314A.htm>

女性の力を解き放つ、

<http://www.imf.org/external/pubs/ft/survey/so/2014/car091514b.htm>